

令和3年度 事業計画書

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月 31日

1. スローガン

最強スクラム！全員YEG

～目標目指して一步前進、更なる上のステージへ～

2. 会長所信

令和2年、経済に大きな損失を与え生活を大きく変え、そして多くの命を奪った新型コロナウイルスもその勢いを弱め少しずつ町も落ち着き始めました。

この歴史的騒動の中で我々は人の無力さを知り、その反面で人の強さも知りました。

青年部活動についても例外はなく、こんな混乱の中ではやれることなど何も無い、誰でもいいから手を差し伸べて貰える事を待ち、時には弱音を吐く場面もありました。ただそれでも何とかやれる方法はないか、やれるだけのことはやっ行ってこうと動き出しその活動や商売を続けてきました。そんな日々を過ごしていく中で学んだ事は、今後の生活またそれぞれの商売や事業に大きく影響し大きな財産となったのではないのでしょうか。良くも悪くも最悪の状況を経験できた我々だからこそ見えてくる物もあると思います、

これから生活様式・商売方法などさらに大きく変化することが予想され、我々はその変化についていけるスキルや知識また方法を考え、一早く身に着けて行かなければなりません。ただそれを一人で頭を抱えて考えていても良い方法なんて簡単に見つかるわけがない。だからこそこの会があります、ここには同じ目標や悩みをもった相談し合える仲間がいます、助け合える多くの友人がいます、それぞれが意見を出し合ってそれを全員で実践出来ることが青年部に所属する事の大きな強みや意味なのではないのでしょうか。

東海YEGはまだその理想形には至っていませんが、一人ひとりがその意識を持ち、周りに伝染していくことで会は成長し、次のステージへ向かうことが出来ると考えています。そんな新しいステージで戦うには誰一人として欠けてはならない、私が掲げる「全員YEG」とはそんな思いが込められた私の理想とする会の在り方であります。

私が思い描くYEG活動とは偉業を成し遂げたいわけではない、全員が肩を組んで足並みを揃えて進んでいける、どんな困難にも負けない強固な絆を持った会を作ることです。そうして活気が溢れた中で活動していく事で知らず知らずのうちに結果はついてくるのだと思っています。

これからは青年部というフィールドで倒れこんでしまった仲間にも手を差し伸べ、その手をとったら肩を組み「最強スクラム」完成させていきましょう！

3. 運営方針

- ・ 会員の活動意欲の向上を図り事業を盛り上げる
- ・ 会を作っているのは会員全員一人一人だと念頭に置き率先して行動する
- ・ リスクを恐れず新しい事に取り組み、口先だけの先導者にならない
- ・ 事業はどれも100%参加を目指す

4. 重点施策

- 1・委員会を通じて会や事業への解釈を深め参加率を向上させる
- 2・1事業全員参加
- 3・会員同士のコミュニケーション強化
- 4・政策提言への取り組みを始める
- 5・自分活性→青年部活性→地域活性！

5. 委員会活動方針

委員会はYEG活動の中心であり、事業や活動をYEGとしての目標達成をするため設置する。

委員長は事業目的をメンバーと共に考え、自由に発言、議論、活動できる環境を作り、委員会の総意として議案提出できる様に努力する。

副委員長は委員長を補佐しフォローや出席率向上に努める。

委員会メンバーは、自らの経験を最大限に発揮し委員長、副委員長を補佐し経験の浅いメンバーのフォローや出席率の向上に努める。

委員会メンバーは地区会で委員会の総意を落とし込み、理事会報告で発言された意見も傾聴し、速やかに委員会に持ち帰ってよりよい事業運営となるよう議論、活動を行なう。

総務委員会

活動方針 東海YEGの円滑な運営を図るとともに、規約の管理を行なう。また、組織の事務局的な役割を担い執行部を補佐する。

AT活用力の向上を図り、組織力の強化に務める。

活動概要

- ・ 理事会の運営及び理事資料の配信

- ・ 総会、納会、新年会の企画・運営
- ・ AT、HP、SNS等の管理
- ・ 青年部手帳の発行、管理
- ・ 備品の管理
- ・ 会員名簿の管理

イベント委員会

活動方針 事業を通じて市民とのふれあい、会員相互の交流の場をつくり、企画を通じて組織力の強化と人材育成を図る。

活動概要

- ・ 東海秋まつりYEG担当エリアの企画・運営
- ・ 卒業式の企画・運営
- ・ 防災事業の企画・運営

研修委員会

活動方針 経済における新しい情報をもとに研修会を開催して、会員へ広く伝え、新しい東海の核となる要素の考案や、会員の為の事業を行う。

活動概要

- ・ 研修事業の企画・運営

調査委員会

活動方針 会員また市民の意見を細かく調査し、会のより良い環境づくりを行い、会員または地域から求められているものを明確化する。

活動概要

- ・ 会員また地域の様々な調査
 - ※会員の活動意欲を向上させるために必要な事柄の調査
 - ※地域から求められている青年部の在り方や事業等の調査
- ・ 調査結果による各委員会のサポート
 - ※委員会や事業への参加率向上
 - ※事業開催に向けてのアドバイス

- ・ 政策提言への取り組み準備
- ・ 広報誌の発行
- ・ HP、SNS等（Instagram、FaceBook、YouTube）の更新（PR活動）

各委員会共通事項

- ・ 渉外活動の取りまとめ
- ・ 他委員会事業への協力と連帯と参加
- ・ その他YEG活動として必要と思われる活動

6. 地区会活動方針

地区会は、役職にかかわらず全会員が所属する組織である。その特性を生かし、理事会報告を通してYEG活動全体の流れを把握し、報告事項に対し発言する場として設置する。地区長は地区意見をまとめ、理事会にて地区意見を発表する。また、基本的に事業所の所在地を考慮した配属なので、東海YEG全体では把握しにくい地区別事情や地区会員の個人的事情を取りまとめしやすい点を生かす場とする。

地区制度を最大限に生かし、事業への協力体制を図ると共に委員会との相乗効果を上げる。（地区会の開催は原則毎月一回、理事会後1週間以内に開催する。地区会では理事会での質問・意見・回答等の報告を行い、次回理事会で報告をする）

- ・ 地区長によるクリスマス事業の実施

令和3年度 東海YEG事業計画

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
総務	総会・納会		手帳作成				臨時総会			新年会			理事会の運営 AT備品等の管理 HP管理
イベント						防災事業		東海秋まつり				卒業式	東海秋まつり芝生広場 アトラクション広場企画運営 卒業式の開催
研修					研修事業						研修事業		研修事業開催
調査	予定者の段階より、会員向けの調査また地域の調査を行い7月以降の他委員会への事業計画の助言を行う										広報誌		会員・地域の調査 広報誌の発行 SNS等PR活動
地区長									サンタ事業				
HP更新			○		○		○		○		○		

他団体事業予定

4YEG 連絡協議会													
県連		第1回 会長会議 28日(岡崎)	県連 ソフトボール 26日			第2回 会長会議 24日(稲沢)		第3回 会長会議 26日(半田)		YEGDAY 22日(蒲郡)		第4回 会長会議 4日(常滑)	
東海ブロック		春の会長会議 15日 三重県鈴鹿						ブロック大会 豊田 11・12日					東海ブロック大会 バス送迎有
日本YEG	全国会長会議 23日 東京							会長研修会 18～20日 茨城県土浦			全国大会 24～27日 香川県高松		全国大会 バス送迎有
他団体					にっぽん ど真ん中 まつり				東海市 ハーフマラソン 12日				各取り纏めは執行部

※予定日については変動も予想されます。

※コロナ終息を5～7月頃と予想した計画となっています